

環境マネジメントセンター 活動実績

公益社団法人 日本技術士会

登録 活動グループ

環境マネジメントセンター (EMC) 実績紹介



編集者：福田宗弘
高堂彰二

環境マネジメントセンター（EMC） 活動実績

1. 概要

環境マネジメントセンター(略称 EMC)は、公益社団法人 日本技術士会に登録された活動グループである。EMC では、“環境”を自然環境だけではなく、経営・技術・品質等を取り巻く環境をはじめ、経済環境(顧客)も含めた“社会環境”として捉え、社会的責任を踏まえた組織の生産性向上活動のあるべき姿を研究している。具体的には、環境・品質・労働安全等の統合マネジメントシステムの研究を通して事業開拓を図り、ISO 認証取得支援および環境保全コンサルティングを進めると共に、講演会やセミナーの開催、専門書籍の出版等により、“循環型社会の確立”に貢献している。

2. 沿革

1995 年（平成 7 年）6 月 2 日

社団法人 日本技術士会 プロジェクトチーム環境マネジメントセンター発足

会長：阪本三郎

副会長：長友正治、池田豊、廣川一男、河邑啓太

2009 年（平成 21 年）1 月 22 日

社団法人 日本技術士会 登録 環境マネジメントセンター 名称変更

2009 年（平成 21 年）10 月

名誉会長：阪本三郎

会長：荒野詰也

2011 年（平成 23 年）4 月 11 日

公益社団法人 日本技術士会 登録 環境マネジメントセンター 名称変更

3. セミナー

時代の先端情報をいち早くお届けすると共に、技術者としての見識を踏まえて説明することを方針としている。活動成果としての代表的なセミナーを下記に示す。

- ISO14001 環境審査員研修フォーマルコース（第1回～34回）環境マネジメントセンター会員
- ISO9001 品質マネジメントシステム審査員研修フォーマルコース（第1回～24回）阪本三郎
- OHSAS/ILO 労働安全衛生審査員研修コース（第1回～7回）阪本三郎
- 病院の改善に病院機能評価や ISO をどのように利用するか！（2004年6月8日）白石正彦
- ISO19011（JISQ19011）対応品質環境共通内部監査員養成特別講座平成（2003年12月3,4日）阪本三郎
- ISO14000s に対応する内部環境監査員養成特別セミナー
（1997年11月6,7,17,18日 1998年3月26,27日、4月2,3日、10月8,9,12,13日、1999年2月4,5日、3月4,5日、5月18,19,27,28日 8月5,6,26,27日 11月11,12,16,17日、2000年1月13,14,18,19日、4月6,7,13,14日、7月4,5日、9月27,28日、2001年2月5,6日、5月15,16日、9月13,14日、9月26,27日、2002年5月28,29日、2004年2月26,27日、）阪本三郎
- 最新 PM 手法で見るプロジェクトマネジメントのツールと技法（2003年4月18日）阪本三郎、松本利裕
- 94年版 ISO9002 で取得した事業所が2000年版 9001 で取得し直すポイント（2001年10月16日、2002年8月2日）阪本三郎
- ISO9000：2000年改正に対応した顧客満足度（CS）の評価とマネジメントレビューへのフィードバック
（2001年5月17日、7月17,27日 11月13日、2002年9月27日）阪本三郎
- 事例でわかる LCA（ライフサイクルアセスメント）実務講座（2001年8月21日、2002年1月14日、8月28日）高木三則、藤田忠宏
- OHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム）に対応する工場現場のリスクアセスメントの具体的なやり方（2002年7月4、18日）阪本三郎
- OHSAS18000s 対応内部労働安全衛生監査員養成講座（1999年11月10,11,12日、2001年4月19,20日、8月20,21日、12月6,7日、2002年6月25,26日）阪本三郎
- 労働安全衛生マネジメントシステム入門 OHSAS18001 規格要求事項解説講座（2002年3月2日、5月14日）
田邊康雄、加藤範男、岡安政二、榎本輝雄、花井健夫

環境マネジメントセンター 活動実績

- 理想目標に最も早く近づけ、他社との違いを主張できる開発アプローチ（2002年4月23日）阪本三郎、関昭二
- 環境マネジメントシステム、労働安全衛生マネジメントシステムに対応した危機管理と効果的リスクコミュニケーション（2001年5月8日、10月24日）岩崎和男
- リスク低減のためのMCDS（製品安全データシート）の作成と効果的活用法（2001年9月21、28日）岩崎和男
- ISO14000sに対応した適正な産業廃棄物管理のすすめ方（2000年5月16日、9月21、22日、2001年8月24日）岩崎和男
- 企業は家電リサイクル法にどう対応するか！（2001年8月29日）荒野詰也
- 環境経営時代のグリーン購買・調達を進め方-現状と納入・販売企業の対策-（2000年12月12日、2001年8月30日）廣川一男、黒岩稔
- 企業に利益とイメージアップをもたらす環境報告書と環境会計（2001年7月25日）荒野詰也
- PRTR法に基づく化学物質の安全管理のすすめ方（1999年8月5日、11月4、9日、2000年1月27日、4月18、19日、2001年6月19、20日）岩崎和男
- PRTR法に基づく化学物質の安全管理のすすめ方（2000年1月27日）阪本三郎
- ISO9000：2000年改正に対応した品質マニュアルはこのように変更する！（2001年3月16日、7月16日、26日）阪本三郎
- プロジェクト・マネジメントのプロセス・手法と具体的成果事例の研究（2001年7月27日）今山康、廣川一男、荒野詰也、大内健司、吉野定治
- ISO9000 審査登録事務所が一番効率的にISO14000を認証取得する方法（1998年1月30日、7月21、22日 1999年1月27日、6月22、23日、2000年4月25日、12月20日、2001年6月8日）阪本三郎
- 労安法、PRTR法、毒劇法をクリアするMSDS（製品安全データシート）の作成と管理（2000年11月21日、2001年3月1、2日）岩崎和男
- ISO9001（2000年版）、ISO14001、OHSAS18001 統合内部監査員養成講座（2001年3月6、27、28日）
田邊康雄、榎本輝雄、花井健夫、岡安政二、加藤範男
- JRCA 登録審査員 ISO9000:2000年版移行特別解説セミナー（2001年3月14、15日）阪本三郎
- ケーススタディと実習による環境会計実践入門講座（2001年2月20、21日）吉野定治
- ISO14001に対応する環境影響評価と環境パフォーマンス評価のすすめ方（1999年4月7日、7月14日、10月13日、2000年2月6日、11月21日）阪本三郎
- 環境マネジメントシステム、労働安全衛生マネジメントシステムに対応した効率的なリスクコミュニケーションのすすめ方（2000年10月19日）岩崎和男

環境マネジメントセンター 活動実績

- IS014000 入門コース-規格要求事項のポイント、審査登録の準備と手順-（1999年12月2日、2000年2月3,9日、5月16,26日9月27,28日）白石正彦
- 環境マネジメントシステム構築と環境会計入門講座（1999年11月2日、2000年2月25、29日、5月17,19日）吉野定治
- 効果的な環境報告書の作成法-事例研究付き-（1999年11月30日、2000年4月7日）中村幸男
- 労働安全衛生法（BS8800, OHSAS18001）の要求事項とマネジメントシステム構築法（1999年9月1日、2000年2月23日）田邊康雄、榎本輝雄、花井健夫
- 労働安全衛生（BS8800）の要求事項とその対応策（1997年7月8日、1999年4月27日）田邊康雄、榎本輝雄、花井健夫
- IS09000sに対応する内部品質監査のレベルアップ（1998年7月30日、1999年4月20日）吉田秀夫
- IS014001に対応した環境マニュアルの作り方（1998年2月25日）阪本三郎
- IS014000対応環境リスクとダイオキシン対策（1998年8月5日、12月2日）岩崎和男、有賀源司
- 労働安全衛生（BS8800）の要求事項とその対応策（1998年10月27日）田邊康雄、中村幸男
- 環境負荷削減のための工場・オフィスの省エネルギー対策（1998年8月28日）栗田賢一、笠原啓介、今山康
- IS014000に対応するリサイクル対策の具体的すすめ方（1998年7月16日）岩崎和男、小沼稔、五十石清
- IS09000に対応するソフトウェア内部品質監査員養成コース（1997年10月15日）吉田秀夫
- IS014001（環境マネジメントシステム）の規格要求事項の具体的解説と認証取得効果（1997年8月26日）阪本三郎
- IS014000sに対応する環境社内規定の作り方（1997年5月27日）阪本三郎
- IS09000シリーズに基づく内部監査と外部監査の実際と対策（1996年11月11,12,13日、1997年3月26,27,28日）阪本三郎
- 環境影響評価の具体的すすめ方（1997年1月29日）阪本三郎、田邊康雄、中村幸男
- 経営者のためのIS014000対応環境マネジメントのすすめ方（1996年5月31日、11月7日）阪本三郎

4. 講演会

平成12年よりテーマ別の研究会で得られた成果を年1回報告している。

● 第1回（平成12年）

日時：平成12年4月8日（土）13：00～17：00、場所：機械振興会館

1. 「経営のための環境マネジメントのありかた」 阪本技術士・中小企業診断士事務所 所長 阪本三郎（技術士）
2. 「ISO14000が会社をつぶす」 田邊技術士・中小企業診断士・労働安全コンサルタント事務所 所長 田邊康雄（技術士）
3. 「グリーン調達の動向について」 廣川産業・技術研究所 所長 廣川一男（技術士）
4. 「リサイクルによる環境負荷低減事例」 岩崎技術士事務所 所長 岩崎和男（技術士）
5. 「中小企業における省エネルギー推進ポイント」 今山技術士事務所 所長 今山康（技術士）
6. 「環境マネジメントと環境会計」 荒野技研 代表 荒野喆也（技術士）

● 第2回（平成13年）

日時：平成13年8月11日（土）13：00～17：00、場所：機械振興会館

1. 「ISO9000：2000改正のポイント」 阪本技術士・中小企業診断士事務所 所長 阪本三郎（技術士）
2. 「企業の情報開示責任と環境報告書」 荒野技研 代表 荒野喆也（技術士）
3. 「化学物質管理促進法の対応について」 花井技術士・労働安全衛生コンサルタント事務所 所長 花井健夫（技術士）
4. 「ライフサイクルアセスメントによる環境影響評価」 高木技術士事務所 所長 高木三則（技術士）
5. 「プロジェクト・マネジメントの活用法」 (株)日立製作所 交通システム事業部主管技師長 安藤正博（技術士）
6. 「作業所あら利を10%向上する建設業のISO14000」 ホリ環境コンサルタント 堀与志男（技術士）

環境マネジメントセンター 活動実績

● 第3回 (平成14年)

日時：平成14年8月31日(土) 13:00~17:00、場所：虎ノ門パストラル本館8階白樺

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 「今後の環境マネジメントの動向」-ISO14001の改正のポイント- | 阪本技術士事務所 所長 阪本三郎(技術士) |
| 2. 「環境ラベルの動向」 | 荒野技研 代表 荒野喆也(技術士) |
| 3. 「環境適合設計」 | 黒岩エコテクノコンサルティング 代表 黒岩稔(技術士) |
| 4. 「建設業における環境改善」 | 小久保都市計画事務所 所長 小久保優(技術士) |
| 5. 「EMS改善に役立つ内部監査」 | 富永調査事務所 技師長 宍戸信之(技術士) |

● 第4回 (平成15年)

日時：平成15年9月6日(土) 13:00~17:00、場所：機械振興会館B3F 研修1室

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 最近の環境活動の動向と課題 | 阪本技術士事務所 所長 阪本三郎(技術士) |
| 2. 統合マネジメントシステム | 吉野技術士事務所 所長 吉野定治(技術士) |
| 3. プロコンサルタント育成 | 豊渡技研 所長 渡部榮久(技術士) |
| 4. 土壌汚染対策 | 栗原環境技術研究所 所長 栗原茂(技術士) |
| 5. 環境改善に役立つ環境側面の捉え方 | 岡部技術士事務所 所長 岡部久夫(技術士) |

● 第5回 (平成16年)

日時：平成16年9月4日(土) 13:00~16:30、場所：機械振興会館B3F 研修1室

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 新しい環境経営支援制度「エコステージ」 | 阪本技術士事務所 所長 阪本三郎(技術士) |
| 2. 海外の環境アドバイズビジネス「TAM」 | 福田環境技術士事務所 所長 福田宗弘(技術士) |
| 3. 問われる企業の社会的責任「CSR」 | 吉澤経営研究所 所長 吉澤光男(技術士) |

環境マネジメントセンター 活動実績

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 4. 土壌汚染：「リスク評価」と「リスクマネジメント」 | NPO 土壌汚染技術士ネットワーク 理事 大木久光(技術士) |
| 5. 省エネルギービジネスと「ESCO」 | はらしまテクノオフィス 代表 原嶋敏彦(技術士) |
| 6. 産学連携による技術経営のすすめ「MOT」 | 荒野技研 代表 荒野喆也(技術士) |

● 第6回（平成17年）

日時：平成17年9月3日(土)13:00~17:00、場所：機械振興会館 B3F 研修1号室

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 1. プライバシーマーク制度 | 阪本技術士事務所 所長 阪本三郎(技術士) |
| 2. 京都議定書を達成するための省エネ対策 | 廣川産業・技術研究所 所長 廣川一男 |
| 3. 医療の質と ISO | 白石技術士事務所 所長 白石正彦 |
| 4. 土壌汚染物理探査 | NPO 土壌汚染技術士ネットワーク 理事・技術委員長 大屋峻(技術士) |
| 5. EA-2 1は環境経営たり得るか | ソリューテックほりかわ 代表 堀川裕巳 |
| 6. 環境経営指標としての「環境効率」 | 荒野技研 代表 荒野喆也 |

● 第7回（平成18年）

日時：平成18年9月16日(土)13:30~17:00、場所：機械振興会館 B3F 研修1号室

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 東欧圏における技術支援 -ブルガリア支援事例- | 藤田技術士事務所 所長 藤田忠宏 |
| 2. 土壌汚染対策で失敗しないためには!! | 高堂技術士事務所 所長 高堂彰二 |
| 3. 公共工事および住宅の品確法の動向 | シードコンサルティング 取締役所長 根本泉 |
| 4. 中国の環境問題と今後の対応 | 技術士 峯岸俊行 |
| 5. 化学物質規制(RoHS 等)の動向 | 荒野技研 代表 荒野喆也 |

環境マネジメントセンター 活動実績

● 第8回（平成19年）

日時：平成19年9月8日（土）13：30～17：00、場所：全国家電会館1階会議室

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 土壌汚染対策法施行から4年 —我が国の土壌汚染問題の現状と課題— | 栗原環境技術研究所 所長 栗原茂 |
| 2. 水道の臭素酸とオゾン処理の選択 | 保坂義男技術士事務所 所長 保坂義男 |
| 3. 新しく開発された高速水質浄化装置による湖沼直接浄化効果のシミュレーションと評価 | 環境工学研究所 所長 山下六男 |
| 4. 労働環境変化とものづくり | 太田技術士事務所 所長 太田芳雄 |
| 5. BCP(Business Continuity Plan) —事業継続計画のすすめ— | 荒野技研 代表 荒野喆也 |

● 第9回（平成20年）

日時：平成20年9月20日（土）13：30～17：00、場所：機械振興会館B3F 研修1号室

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 新しい指標 EEBE®による環境経営評価のブレークスルー | 武田技術士事務所 所長 武田彰夫 |
| 2. 企業倫理と内部統制(J-SOX 法を含む) | 太田技術士事務所 所長 太田芳雄 |
| 3. 中国環境ビジネスにおける技術士の役割 | 長友機械技術士事務所 所長 長友正治 |
| 4. 土壌汚染調査と対策の現状 | 大木環境研究所 代表 大木久光 |
| 5. 化学物質管理の国際動向と REACH 規制の衝撃 | 荒野技研 代表 荒野喆也 |

● 第10回（平成21年）

日時：平成21年9月19日（土）13：30～17：00、場所：機械振興会館B3F 研修1号室

「低炭素社会構築の国内外動向」

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. 排出権取引の現状と国内クレジットの位置付け | 廣川産業・技術研究所 所長 廣川一男 |
| 2. 食品事故事例と ISO22000 の効能「未然・再発防止の道標」 | 田中技術士事務所 所長 田中好雄 |

環境マネジメントセンター 活動実績

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 3. 省エネ法の改正と企業の対応 | 石橋コンサルタント事務所 所長 石橋 耀 |
| 4. 東欧に於ける省エネ技術指導 | 藤田技術士事務所 所長 藤田忠宏 |
| 5. カーボンフットプリント制度とその意義 | 荒野技研 代表 荒野喆也 |

● 第11回（平成22年）

日時：平成22年9月18日（土）13：30～17：00、場所：機械振興会館 B3F 研修1号室

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 東京都の総量削減義務と省エネルギー手法 | 岩井技術士事務所 所長 岩井康行 |
| 2. 改正土壌汚染対策法とビジネス | 保坂技術士事務所 所長 保坂義男 |
| 3. 欧州復興開発銀行でのコンサルタントの機会 | 大屋技術士事務所 所長 大屋 峻 |
| 4. 排出権取引制度と企業経営 | 小塚技術士事務所 代表 小塚浩志 |
| 5. 第2のインターネット：スマートグリッドの展開 | 荒野技研 代表 荒野喆也 |

● 第12回（平成23年）

日時：平成23年8月13日（土）13：30～17：00、場所：日本技術士会（葺手第二ビル）A会議室

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1. エネルギーマネジメントシステムISO5001の登場 | 岩井 康行 |
| 2. 戸建て住宅の太陽光発電事例から考える | 伊藤 寛 |
| 3. 財務諸表改善のための合理化ポイント | ソリューションほりかわ代表 堀川 裕巳 |
| 4. トリウムによる次世代原子力発電の展望 | (有) 荒野技研 代表 荒野 喆也 |

5. 出版物

実用的で即役に立つ情報を集約し、わかりやすく見やすい形にまとめて、世の中にはない斬新な切り口の専門図書を提供している。活動成果としての代表的な出版物を下記に示す。

- CSRガイド
- 統合マネジメントシステム社内標準事例集（2005年8月）
阪本三郎、吉野定治、今山康、岡部久夫、木村貴則、小林眞、野村忠義、原嶋敏彦、堀川裕巳、村上勝男、吉澤光男、渡辺榮久
- ノンリグレットな環境経営に役立つ環境側面把握法（2004年4月）
阪本三郎、石橋耀、今山康、大内健司、岡部久夫、笠原秀夫、黒岩稔、荒野喆也、小久保優、宍戸信之、清水五郎、高木三則、中敏、廣川一男、堀川裕巳、村上勝男
- ISO/TR14062に対応する実践環境適合設計(DfE)マニュアル（2003年1月）
阪本三郎、黒岩稔、石橋耀、荒野喆也、高木三則、中敏、花井健夫
- どこをどう直すかがすぐわかる！ISO9000:2000年改正用追加変更見本（2002年11月）
阪本三郎、白石正彦、吉田秀夫
- LCA(ライフサイクルアセスメント)を実際にやってみよう！（2002年9月）
阪本三郎、高木三則、石橋耀、黒岩稔、荒野喆也、中敏、花井健夫、藤田忠宏
- ISO9000:2000年版対応マネジメント・プロセスアプローチと品質計画書見本（2002年3月）
阪本三郎
- 実践リスクアセスメント事例集（2001年12月）
阪本三郎、岩崎和男、有賀源司、渡辺榮久、伊藤進一、小澤清
- 実践LCA(ライフサイクルアセスメント)マニュアル（2001年5月）
阪本三郎、高木三則、石橋耀、黒岩稔、荒野喆也、中敏、花井健夫、藤田忠宏

環境マネジメントセンター 活動実績

- すぐわかる！ P R T R法対策Q & A (2001年5月)
阪本三郎、花井健夫、堀川裕巳、浅輪達治、石橋耀、岩崎和男、大内健司、岡部久夫、荒野詰也、久保田司、小久保優、白石正彦、高橋安一、廣川一男
- ISO9000：2000年改正対応品質マニュアル見本(2001年2月)
阪本三郎
- ISO9000：2000年改正対応品質マニュアルそのまま見本(2003年10月)
阪本三郎
- ISO9000：2000年改正対応最新・社内規定事例集(2001年1月)
阪本三郎、白石正彦
- ISO9000：2000年改正対応マネジメント・プロセスアプローチと品質計画書見本(2004年3月)
阪本三郎
- ISO9000 審査登録事業所のための2000年改正：社内規定新規追加変更事例集(2000年8月)
阪本三郎、白石正彦、吉田秀夫
- 環境設備 ISO14000 対応 運用管理事例集(2000年7月)
阪本三郎
- 環境関連法規に基づく届出手順書 -申請書類記入見本総覧-(1998年9月)
阪本三郎、花井健夫、五十石清、岩崎和男、草刈和彦、有賀源司
- 環境強化書(1999年10月)
阪本三郎、田邊康雄、吉野定治、久保田司、高橋安一、岩崎和男、今山康、渡辺榮久、花井健夫、降旗達生、白石正彦、水野光春、榎本輝雄、高木三則、五十石清
- グリーン購入・調達実践マニュアル(2001年7月)
阪本三郎、廣川一男、大内健司、黒岩稔、藤田忠宏、中敏
- 環境問題と ISO14000 入門

環境マネジメントセンター 活動実績

- ISO14000s 対応 環境計測・計量実務マニュアル（1999年7月）
阪本三郎、花井健夫、浅輪達治、有賀源司、石村博、五十石清、岩崎和男、草刈和彦、白石正彦、高木三則、降旗達生、水野光春
- 化学工業の環境管理・レスポンシブルケア実践集（1997年3月）
阪本三郎、五十石清、中村幸男、中村昌允、中村齊、野村忠義、岩崎和男
- 最新ダイオキシン対策実用マニュアル（1999年5月）
阪本三郎、浅輪達治、有賀源司、岩崎和男
- 環境会計導入マニュアル（2001年2月）
阪本三郎、荒野詰也、吉野定治、白石正彦
- ISO14000に対応するリサイクル対策マニュアル（1998年2月）
阪本三郎、岩崎和男、五十石清、大坪俊治、荒野詰也、齊藤齊、神藤賢、野村忠義、花井健夫、中村昌允、今山康、河内啓一、小沼稔、高木三則、羽島修、檜山功
- 電気・電子機器業界の環境対応事例研究（1998年9月）
阪本三郎、石村博、小沼稔、岩崎和男、五十石清、今山康、荒野詰也、廣川一男、羽島修
- 省エネルギーによる環境負荷低減マニュアル（1997年10月）
阪本三郎、今山康
- 作業所「あら利」を10%向上する 建設業のISO14001（2001年2月）
田邊康雄、堀与志男、岡安政二、榎本輝雄、久保田司、降旗達生、富取治郎、高木三則
- 環境関連法規要解（1997年4月）
遣沢哲夫、阪本三郎、野村忠義、草刈和彦、中村幸男、池田豊、荒野詰也
- ISO14001sに対応した実践環境マネジメント大系（1998年6月）
阪本三郎、小沼稔
- ISO14000s 推進 環境既定・実務対応マニュアル（1998年4月）
阪本三郎、五十石清

環境マネジメントセンター 活動実績

- 環境マニュアル（1998年1月）
阪本三郎
- ISO14000sに対応する環境社内規定事例集（1997年5月）
阪本三郎、河内啓一、吉田秀夫
- ISO14000sに対応する続・環境社内規定事例集（1997年8月）
阪本三郎
- ISO14000sに対応する続々・環境社内規定事例集（1998年1月）
阪本三郎、岩崎和男、千坂武敏
- 目で見える環境影響評価（1997年5月）
田邊康雄、中村幸男、奥居隆、荒金煉、阪本三郎
- ISO14000s対応 内部環境監査員養成マニュアル（1998年1月）
阪本三郎
- 経営者のためのISO14001対応 環境マネジメント推進マニュアル（1996年10月）
阪本三郎、池田豊、小沼稔、檜山功
- BS8800・OHSAS18000に対応する労働安全衛生規定事例集（1999年6月）
阪本三郎
- BS8800・OHSAS18000に対応する労働安全衛生標準・手順書事例集（1999年8月）
阪本三郎
- 環境関連法規要解（2001年1月）
遣沢哲夫
- 環境計測・計量実務マニア（2001年1月）
阪本三郎、花井健夫

環境マネジメントセンター 活動実績

- 環境社内規定事例集
阪本三郎、河内啓一、吉田秀夫
- 続・環境社内規定事例集
阪本三郎
- 続々・環境社内規定
阪本三郎、岩崎和男、千坂武敏
- これでわかる！！環境設備管理担当者の ISO14000 対応法
阪本三郎
- 品質計画書見本
阪本三郎
- ISO14000 に対応するリサイクル対策マニュアル
岩崎和男
- 21 世紀の国際品質保証システムを求めて－2001 年の ISO-（ビデオ）
金武典夫、田邊康雄、吉田秀夫、阪本三郎
- 改定 ISO9001 に対応する製品開発・設計標準のつくり方（ビデオ）
阪本三郎

6. 海外活動

欧州復興開発銀行の中小企業への技術支援事業である TAM(Turn Around Management)に平成 16 年以降に参画し、環境・省エネに特化した新規プログラムの創出、また実施に貢献した。多くのメンバーが同プログラムに参画し、各国の企業への技術支援を実施している。代表的な事例を下記に示す。

- | | |
|--------------------|------------|
| ● マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 | 皮革製品会社 |
| ● マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 | アルミ鋳造会社 |
| ● マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 | 地域熱供給事業会社 |
| ● ブルガリア | 繊維会社 |
| ● ブルガリア | アルミ製品製造会社 |
| ● ブルガリア | 砂糖会社 |
| ● モンテネグロ | 船舶修理会社 |
| ● モンテネグロ | 火力発電事業会社 |
| ● セルビア | リゾートホテル会社 |
| ● ボスニアヘルツェゴビナ | 金属製品加工会社 |
| ● ボスニアヘルツェゴビナ | 家具製造会社 |
| ● モルドバ | 煉瓦製造会社 |
| ● アルバニア | 建設会社 |
| ● ロシア | 木材会社 |
| ● ロシア | 建設会社 |
| ● ウズベキスタン | 綿花機械製造会社 |
| ● モンゴル | 建設会社 |
| ● カザフスタン | エンジニアリング会社 |

環境マネジメントセンター 活動実績

- カザフスタン 地域熱供給事業会社
- カザフスタン 自動車製造会社
- カザフスタン 軽量コンクリート製造会社

上記のうち活動事例に幾つかは下記においても紹介されている。

雑誌「資源環境対策」2010年 2月号「環境TAM (Turn Around Management) ——環境技術で貢献するシニア活躍の場」

福田宗弘 高堂彰二

同上 2010年 6月号「環境TAM ケースヒストリー [中東欧編Ⅰ] マケドニア アルミダイカスト工場」

吉澤光男 大木久光

同上 2010年 9月号「環境TAM ケースヒストリー [中東欧編Ⅲ] マケドニア 熱供給会社」

藤田忠宏 高堂彰二

同上 2010年 10月号「環境TAM ケースヒストリー [中東欧編Ⅳ] ブルガリア アルミニウム製品工場」

渡部栄久

同上 2010年 12月号「環境TAM ケースヒストリー [中東欧編Ⅵ] ボスニア・ヘルツェゴビナ 溶融亜鉛メッキ工場」

小塚浩志 吉澤光男